

じやりみち

……仮設支援情報……



第54号 発行日 98.8.23
被災地NGO協働センター
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町7-2-6
TEL: 078-685-0068 / FAX: 078-685-0071
E-mail: SHB00846@niftyserve.ne.jp
口座番号: 01180-6-68556 (郵便振替)

甲子園の球児の歓声が去り、辻々の地藏盆の華やきが去ると、夏の終わりの近いことを実感します。以前なら「宿題やってない〜」とそろそろあせり始める今日この頃、残暑お見舞い申し上げます。



まけないぞう〜ありがとうキャラバン が出発します!

当センターのスタッフが、「まけないぞう」事業の促進のために「一本のタオル運動」を呼びかけながら、今年1月北海道を出発し、60日かけて横浜まで歩きました。冬の北海道・東北の徒歩キャラバンだったために、みなさまには多大なご心配をお掛けしました。また道中では、北海道のみなさまはじめ、本当に多くのおみなさまに助けられ、励まされ、支援を受けました。

私たちはこの3年間、全国の人たちと顔の見える関係を築き、そのことによって多くのことを学ばせて頂きました。震災で多くの命をなくしましたが、多くの財産も頂きました。それは、人の愛、思いやる心、支え合う行動です。

☆☆☆

1995年1月17日、未曾有の阪神・淡路大震災を受けて以来、義援金や物資とたくさんの支援を受けたにもかかわらず、3年経ってまた厚かましくも一本のタオルの提供を求めて、お願いしてまいりました。みなさまと同じサポーターとして、今度は今までのご支援、ご協力に対して、不十分ではありますが、一度お礼に参らなければと思い、このような「まけないぞう〜ありがとうキャラバン」を企画いたしました。結局またみなさまにご迷惑をかけることになることを承知しながら、図のようなスケジュールでの実施を予定しています。

☆☆☆

「まけないぞう」事業は「私たちは大きなことはできません。ただ小さな愛をもってやることはできます」をモットーに、この間、展開してまいりました。おかげさまで、この1年間に寄せていただいたタオルは約50,000本、製作されたぞうさんタオルは40,000頭を超えました。そして何よりも製作者である被災者は、一針一針、精魂込めてつくりながら「苦しいけれど、私もマケナイゾ〜」と、手に持つぞうさんに語りながら、日々を過ごしています。また「まけないぞう」を買って下さった人から「逆に元気をもらいました」というお便りを頂き、「震災後、ずっと助けてもらってはかりだったけれど、やっとこうして人の助けに、社会の役に少しでも立ったのね」と涙ながらに話されます。また、ぞうさんは手作りですから一頭一頭少しづつ表情が違い、自分の分身のように可愛がっておられ、出荷するときには「この子はどこに嫁に行くのかなあ」と語りかけている方もいます。

☆☆☆

本当にみなさまのおかげで、勇気と元気を頂きました。今までのご支援とご協力に対して、甚だ不十分ではありますが、お礼に伺いたいと思います。道行く先々でお会いできたら、ぜひお気軽に声をかけて下さい。

私たちは大きなことはできません。

ただ小さな愛をもってやることはできます。(マザー・テレサの言葉より)

